

バグハウスのシール破損の タイムリーでコスト節約をもたらす修理

化学産業 ARC 858、CFW-CR、および CS2 ARC ケーススタディ

問題点

問題

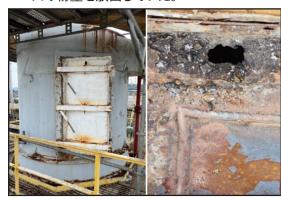
化学プラントの運転が2週間のメンテナンスで停止されて数日内に、バグハウス内で塩素ベースの粉塵の潜在的な漏れが検出されました。通常の切断/溶接を使用する修理は10日間かかり、足場の組立および高熱作業の許可が必要でした。修理費の見積りは\$180,000でした。

目標

バグハウスの腐食した壁を、コスト効率のより優れた方法で、2週間のメンテナンス停止期間内に修理する。

根本的原因

バグハウス構造内の腐食した壁が潜在的に塩素 ベースの粉塵を放出していた。



腐食した壁のあるバグハウス構造

解決策

準備

表面を電動工具で SP 10 の仕上げまで洗浄。カーボン繊維層を塗布する前に凸凹になった鉄鋼表面を滑らかにするために、Chesterton® ARC 858 磨耗コントロール化合物を補修剤として使用。

塗布

洗浄後破損部の修繕に Chesterton ARC CFW-CR を5層塗布。破損部がシール、固定された後、最大限の薬品耐性を保証するために Chesterton ARC CS2 Coating を保護層として途

Chesterton ARC CS2 Coating を保護層として塗布、硬化。

結果

信頼性の向上

プラントは時間の損失なく運転開始条件を満たすことができました。運転開始時に漏れの兆しは一切なく、通常の修理コストで\$150K以上節約につながりました。

ARC CFW-CR による修理は材料費、人件費を含めて \$35K で、費用と時間のかさむ足場の組立や人手を要する切断、溶接なしに、その場で構造を修繕することが可能です。





下準備の後 ARC CFW-CR を破損部に塗布。



ARC CS2 を CFW-CR で修理した上にトップコートとして塗布。

JA602215

3/25

技術データはラボテストの結果を反映し、一般特徴のみを呈示するものです。 A.W.Chesterton Companyは、特定の目的のための商品性および適応性の保証をはじめとする全ての保証を、明示、暗示にかかわらず、一切いたしません。当社に責任がある場合は、製品の交換に限定されます。本書記載の画像は、一般の例示あるいは視覚化を目的とするもので、特定の製品や機器に関する取扱説明、安全性、操作、使用法などの情報や提案ではありません。製品の安全な使用、保管、取扱い、廃棄に関しては、適切な安全性データシート)、製品データシートおよび製品ラベルを参照するか、最寄りの当社販売担当者に石棚家だり A.W.Chesterton Company 860 Salem Street, Groveland, MA 01834 USA

© 2025 A.W. Chesterton Company.

® Registered trademark owned by A.W. Chesterton Companyが所有しライセンス権を持つ登録商標です。。Chesterton.com

